

あした 未来へつなぐ

【環境保全】

ひとりでも多くの人の役に立つために、この北海道で地域と人のために私たちができること。JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。「未来(あした)へつなぐ」ために。

文=本間 吾里砂 写真=池田 宏



グラス(草)をふんだんに取り入れ、北海道初となった本格的なグラスガーデン。新しいスタイルの庭園として世界でも注目を集めている。

エスタ屋上に緑と憩いの空間が誕生！ 草原をイメージした「そのらのガーデン」 札幌駅総合開発株式会社

J R札幌駅に隣接する「札幌エスタ」の屋上に、緑と憩いの空間「そのらのガーデン」が誕生しました。三連休に合わせてのオープンだったこともあり、連休初日の九月二十三日は約千五百人が来場。三日間で七千人を超える人が訪れました。

北海道初の試みとなったこの屋上庭園は、CO₂削減をはじめ、環境保全活動の一環として、またエスタのお客さまに買い物の合間の休憩などに利用してもらうことを目的に、屋上部分を有効活用して実現したものの。テレビドラマの舞台「風のガーデン」(富良野市)で知られる上野ファームの上野砂由紀さんの監修により、グラス(草)をふんだんに取り入れた本格的なグラスガーデンとなりました。約一千三百平方メートルの空間にグラス類を含め約九十種類の植物を植栽した庭園は、北海道らしいダイナミックなイメージ。葉色と草丈の違いで生まれる美

しいグラデーションと風によくグラス類の変化に富んだ動き、そこに四季の花々を織り交ぜ、季節ごとにいろいろな表情を楽しめるよう配慮しています。寝転んだりもできる芝生広場やウッドデッキを備えた広場などもあり、ゆったりとくつろげるのもグラスガーデンならではの。晴天時は「そのらのガーデン」と呼ぶにふさわしい、三百六十度の青空が間近に広がり、ライトアップされた日没後は星空が彩りを添えます。札幌を拠点に活動している彫刻家・國松明日香さんの作品を設置した場所は記念撮影に最適です。

ビルでおなじみのホップなども取り組んでおり、壁一面を覆うまでに成長すれば、屋上緑化との相乗効果で温度の上昇が抑制され、省エネ効果も期待できます。

運営会社の札幌駅総合開発(株)では、プレオープンのイベントとして子どもたちを招いての写生会を実施。庭園の魅力が伝わるイベントとして好評を博しました。残念ながら年内の営業は十一月中旬までですが、草花の成長を本格的に楽しめる二年目に早くなります。



1「テルミヌスの風」國松明日香作。「そのらのガーデン」に吹く力強くも優しいテルミヌスの風をコルテン銅にて表現しました。2 ガーデンドアリア 3 ユーバトリウム 4 広々とした「デッキ広場」からガーデンを望む。この時期はグラス類の穂が風にゆれて美しい。